



肥後銀行
台北駐在員事務所 所長
本島 知明

「九州・沖縄地銀連携協定 (Q-BASS) 半導体関連業種商談会」開催

2024年12月25日、台北市のホテルイリュウム台北にて「九州・沖縄地銀連携協定 (Q-BASS) 半導体関連業種商談会」が開催されました。本商談会は九州・沖縄地銀連携協定 (通称Q-BASS) が主催し、九州企業の台湾半導体サプライチェーンへの参入支援を目的としたものです。今回は本商談会の内容についてご紹介します。

1. 九州・沖縄地銀連携協定 (通称Q-BASS) とは

Q-BASSは「Kyushu-Okinawa Banking Alliance Semiconductor Solutions」の略称で、2024年1月に九州・沖縄の地銀11行が「新生シリコンアイランド九州」実現を目的に発足した連携協定です。2024年5月には山口銀行と北九州銀行の2行が加わり、13行となりました。本協定は半導体関連産業集積の促進や半導体を起点とする他産業および社会インフラの強化を図り、九州・沖縄経済全体の需要を拡大することで更なる成長を目指すものです。

※Q-BASS連携行

(幹事行) [福岡銀行](#) / [熊本銀行](#) / [鹿児島銀行](#) / [宮崎銀行](#) / [大分銀行](#) / [沖縄銀行](#) / [琉球銀行](#) / [山口銀行](#)
以降は会員専用ページにて公開しております。

(参加行) [大分銀行](#) / [沖縄銀行](#) / [鹿児島銀行](#) / [北九州銀行](#) / [佐賀銀行](#) / [十八親和銀行](#) / [筑邦銀行](#)

ご覧頂くには、入会手続き後、会員専用ページより

アクセスをお願いします。

2. 九州・沖縄地銀連携協定 (通称Q-BASS) 半導体関連業種商談会

本商談会はQ-BASSの「サプライチェーン強化」の取組の一環として開催されました。三部構成で、日台合わせて約190名が参加。第一部の講演会では熊本県立大学理事長の黒田忠広氏が「半導体の未来」をテーマに講演され、第二部では九州半導体製造設備工業同業公会 (TEEIA) の会員台湾企業34社による個別商談が行われ、商談件数は約100件にのぼりました。第三部では商談会に参加した企業による日台企業交流促進懇話会を開催しました。

[ご入会はこちらから](#)

(入力は数分で終わります)

[会員の方ははこちらから](#)